

ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市公議員

NO.1219

18.10.2

9月定例会市議会報告



貴乃花部屋の突然の解散にはびっくりしました。しかし貴乃花も相撲協会も駄々をこねるようなものでもなく。これで「国技」の名乗るのは恥ずかしい。9月30日に騒動のもとになった日馬富士の断髪式が西国国技館で開かれたのも遠慮があります。さて、今回は、私、ひめだ高宏の総務委員会の報告です。

市民図書館の跡地活用報告

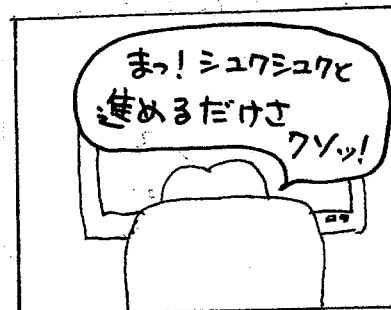
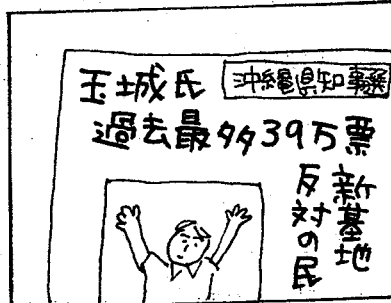
9月25日(火)の総務委員会で市長公室から「市民図書館の跡地活用について」報告がありました。現市民図書館が移転のため閉館したのも学校法人響和会が

開設する「いびり系大学」に建物を買取り、市が改修費補助を3億2千万円出したとのこと。6月議会で図書館の跡地利用に関する私、ひめだの

一般質問に対し、市長公室長は「跡地利用は確定してない」と答弁し、市は「協議の検討を重ね、活用策の方向性が決まった段階で、検討の経過も含めて、その結果を議会の皆様にお示しした上で、事業化に向けて取り組んでいきたい」と答弁しました。しかし、実際は議会の誰にも何の報告もなく、いきなり債務負担行為予算(翌年度以降に執行するための予算)つまり事業化のための予算(を出してきたのです。私、ひめだは、どうして報告を省いたのかと驚き、その経緯も議会の皆様にお示しした。

フワッの人々

(1002)



松坂みち子を
励ます集い

10月6日(土)
14時～

フワッザホール
4階大ホール

1部 うたごえ邦楽 沖繩三線おど

2部 清水ただし 前衆議院議員

森下ちち、井本ゆいら
ひめだ高宏の3名様
候補も勢ぞろい!!

ぜひ、おこしくたか
待っています!

今週のフワッの人々

(その165)

沖繩知事選大勝利!

台風接近のテレビ報道では相変わらず外に出て風に吹き飛ばされそうになりながら現地から中継しています。今回の台風24号では「外は危ないの」で、ホテルの中から報告します」との中継があり、そのせなアカンとは思いつながら、様子がいまいち伝わってきませんので、ゴメンよ。

保守・革新の垣根を越えたオール沖縄の合流を女将

志知事が亡くなったために行われた沖繩知事選は、投票日の9月30日に台風24号が直撃し、どうなることかと思っていま

したが、公明長知事の後継者として辺野古新米軍基地建設反対を掲げ立候補した玉城デニー氏が当選しました。米軍新基地建設に反対する沖繩県民の意思は明確です。アバ内閣は、その意思を踏まえただちに新基地建設を断念すべきです。



ひめだ高宏

ブルーシートに関する

9月27日(木)の総務委員会に危機管理課から「7月豪雨及び台風2号・20号・21号に伴う対応について」報告がありました。
 私、ひめだはブルーシートの配布に関して質問。市には7000枚の備蓄を避難所の小学校に各20枚ずつ8500枚保管。今回は市の備蓄庫にある8500枚のうち7000枚を

無償で配布したとのこと。ホームセンターのブルーシートが足りないためです。私は市として被災について各方に働きかけをできなかったのかと質問しました。

財政見通し出るも不十分

9月27日の総務委員会に財政局から「一般会計の中期財政見通し(18・20年度)」が報告されました。10年間の財政見通しでしたが、投資的経費については20年度までに明らかになっていくものしか計上され

ていません。その内訳の説明も不十分なものでした。私、ひめだは、中期総合計画を踏まえ、少なくとも尾花市長の2期めの4年間の計画を検討する必要があることを指摘しました。

「いんげん豆」松坂みち子

台風24号
 21号の時は何の準備もありません。停電・断水に見舞われたことを反省し、今回は用意周到で滞りなく行いました。冷蔵庫でなくカップ麺や缶詰など、

また両手を使えるような懐中電灯を買い足し、水をためておくタンクも用意しました。ただ、はいままで水をいれると重くて運べないのですが……。そして30日、21号ほどの暴風雨はなく過ぎていき、ほっとしましたが、21号の傷跡も残る中、みなさんのところはどうかだったでしょうか。また続いて25号も発生しています。次々とやってくる台風、備えあれば憂いなしとはいいますが、いざというときは声をかけあって早めの避難を。



松坂みち子 (県議予定候補)

潮流

18.10.1 猛烈な秋台風が列島を縦断するなか、暦は10月へ。大阪の富田林署から逃げた容疑者はようやく捕まりましたが、天候も世の中も落ち着かないまま、今年もあと3カ月になりました。▼いま

入浴が月に一回になってしまった。冬に灯油が買えない……。これまで切り詰めてきたのに、これ以上どこを。弁護士や電話相談に寄せられた生活保護利用者の叫びです。▼安倍政権は従

ち、日本各地に拡大する被災地。東日本大震災をはじめ、安住の地から遠ざけられた人々も大勢います。そこに近い打ちをかける無慈悲な天変地異が繰り返している。困難のなかで生きる希望を感じさせるのは行政の大切な役割です。▼ところが、今月から政治の冷たい仕打ちが国民を直撃します。生活保護のうち、食費や光熱費などにおいて支給額が段階的に見直され、受給世帯のおよそ3分の2で引き下げられます。とくに都市部の子どもがいる夫婦や高齢の単身世帯は影響が大きい。▼白米に醤油をかけて食べた

足以来、生活保護を前リ続けてきました。その額は年々270億円の増え、今年も270億円の増えが予測されます。アベノミクスの失敗で格差と貧困を拡大しながら、苦しんでいる人々たちをさらに追いやる。この政権の向く方向がありありと▼労働者の「派遣切り」も懸念されるいま、憲法に明記された「健康で文化的な生活」を一人ひとりにどう実現するか、台風の進路は変えられませんが、政治は私たちの力で転換できます。人間が大事にされる希望ある国へと。

赤旗 日刊 3,497円/月 日曜 822円/月